

II. 事業評価個表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称					
1	地域活性化措置	特別支援教育支援員派遣事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		十和田市					
交付金事業実施場所		十和田市東三番町 ほか12校					
交付金事業の概要		<p>特別支援教育支援員（42名）は、校長をはじめ教職員等と連携し、基本的な生活習慣確立のための日常生活上の介助や、発達障害の児童生徒に対する学習支援等の業務を行っている。特別な支援を必要とする児童生徒が学校生活を豊かに過ごし、学習指導、生活指導を効果的に行う体制を支援するため、学校からの派遣希望をもとに支援員を配置している。</p> <p>支援員の人件費に交付金を充当し、支援員を派遣することにより、学校生活全般の安定が図られるのみならず、保護者の安心、教師の負担軽減等が図られ、児童生徒への効果的な指導を支える基盤とすることが期待される。</p> <p>事業期間 令和3年5月1日～令和4年2月28日（10か月）</p>					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>第2次十和田市総合計画（平成29年度～令和8年度） 基本目標2 地域全体で子育て・子育てをしっかりと支えるまち（子育て・教育） 施策7 学校教育の充実 基本事業4 望ましい教育環境の充実 <目的>児童生徒がより安全・安心で快適に学べる教育環境の整備を推進します。 <手段（抄）>特別な配慮を必要とする児童・生徒の学校生活の支援を行います。</p> <p>【注目指標】 ・小・中学校施設の耐震化率 100%（令和3年度） ・コミュニティ・スクール数 6校（令和3年度）</p>					
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度		令和3年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度	
		特別な支援を必要とする児童生徒への支援	成果実績				
			目標値				
			達成度				
		評価年度の設定理由					
		翌年度も必要な支援体制の整備を図っていくため、事業実施年度内に評価を実施。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
本校付近の活用により、令和3年5月～令和4年2月の10ヶ月間、特別支援教育支援員42人による特別な支援を要する児童生徒への支援体制を整備することができ、学校生活全般の安定が図られた。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	令和3年度	年度	
		支援員数（人） × 雇用月数（月）	活動実績	人月	419		
			活動見込	人月	420		
			達成度	%	99.8		
交付金事業の総事業費等		令和3年度	年度	年度	備考		
総事業費		27,860,358					
交付金充当額		22,000,000	0	0			
うち文部科学省分		0	0	0			
うち経済産業省分		22,000,000	0	0			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
人件費		雇用		特別支援教育支援員 42名		27,860,358	
交付金事業の担当課室		十和田市教育委員会 教育総務課					
交付金事業の評価課室		十和田市教育委員会 教育総務課					